



いつもご紹介いただきありがとうございます。今回はご紹介いただいた患者様の中から2事例をご紹介させていただきます。

事例紹介①「サルコペニア摂食嚥下障害」

87 歳 男性 食欲低下と持続する微熱 入院中

約 25 年前に食道がんに対して手術を施行され、その後急性期病院の外来に通院中。直近 1 年間で 3 回も肺炎を発症しており、さらに食欲低下、体重減少が持続していたため当院へ入院した。入院後の嚥下内視鏡検査では、常時梨状窩に唾液が貯留し気管へ流入しており、誤嚥および湿性嚔声を認めた。そのため、食事形態を嚥下調整食に変更し、水分にはトロミを付加、言語聴覚士の介入を開始した。嚥下障害は、食道がん術後の影響よりも、繰り返す肺炎やサルコペニア摂食嚥下障害が原因である可能性が示唆された。食形態変更後は発熱もなく、湿性嚔声も軽減し、誤嚥性肺炎を発症することなく順調に経過し、リハビリによる体力回復もえられている。

事例紹介②「正常圧水頭症」

68 歳 女性 横紋筋融解症治療後、歩行障害 入院期間 19 日

前医で横紋筋融解症に対して治療後、当院へ転院した。前医入院中に歩行障害があり、パーキンソン症候群を疑い薬物療法が開始されていたが、改善は乏しかった。歩行障害に伴い ADL 低下および意欲低下も認められたため、再度神経学的評価と画像検査を実施し、疾患鑑別を進めた。その結果、歩行障害の原因として正常圧水頭症の可能性が考えられた。急性期病院へ再転院し脳神経外科に相談のうえ、タッピングテストを実施したところ歩行障害は改善したため、正常圧水頭症の確定診断のもと VP シャント術を施行。術後は当院に再度転院し栄養管理とリハビリにより歩行障害が改善したため、自宅退院となった。

Instagramとユーチューブ始めました。



Instagram



YouTube



屋上庭園のキンモクセイ

こもればカフェ 「絵手紙入門」

8月30日(土)、医療短期大学と高齢者医療センターの共催で、「こもればカフェ」を開催しました。地域ではおなじみとなりつつあるこのイベント。今回は17名の地域住民が参加し開催されました。今回の目玉は二つ、鈴木栄養室長企画監修のスイーツbuffetと初めての絵手紙制作です。開会のあいさつの後にお茶とスイーツを楽しんでから絵手紙の制作に取り掛かりました。高齢者医療センター秋山医師からの書き方アドバイスによると、絵手紙をうまく描くコツは「うまく描こうとしないこと」だそうです。中にはわざと利き手の逆で描く方もおられるとのことでした。そのため皆さん、リラックスした雰囲気ですれぞれが選んだ季節の野菜や花卉などの画材と向き合って筆を進めておられました。

次回は10月25日(土)に高齢者医療センターでマンドリンアンサンブルコンサート

12月13日(土)に川崎医療短期大学でクリスマス料理を作ろう を予定しています。

(患者診療支援センター)



フレイルセンターからご案内

フレイルセンターでは10月より土曜日に集団プログラムを追加いたします。先日、地域住民向けに集団での運動指導を実施させていただいたところ、実施の後のアンケートで「今回体験した運動は皆さんと一緒にであればできるが、家の中で一人で行う事は難しい」との声もあり、一人では難しいが体は動かしたいという需要は多いのではないかと思います。ご希望・ご紹介いただける患者様がおられたら下記要領にてご予約お問い合わせいただければと思います。

- 当院の受診歴がない患者様は事前に当院での外来受診（火-金の午前中）をしていただく必要があります。できるだけ紹介状をご用意ください。
- 当院通院中の場合は、当院の主治医に尋ねるように指示してください。
- お問い合わせは下記の患者診療支援センターまでお願い致します。
- フレイルセンターの利用自体には別途料金が必要であることをお伝えください。

料金：50分【個別指導1600円】【集団指導800円】



学校法人川崎学園 川崎医科大学高齢者医療センター
患者診療支援センター
〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番80号
TEL **086-201-5280** (患者診療支援センター直通)
FAX 086-225-2051

受付時間

平日 8:30~11:30
13:30~16:00
土曜日 8:30~11:30